

(令和1年度自己評価公表シート)

1. 本園の教育目標

「強く、正しく、美しく」を建学の精神とし、「基本的な生活習慣を身につけ、たくましい心身や思いやりの心を育て、よく考えて行動できる子どもを育成する」を教育の目標として日々の保育に取り組む。  
幼児期にふさわしい生活が送れるよう、異年齢交流や自然観察の機会を多く取り入れ、直接的な体験学習をし、伸び伸びと「自主・協力・創造」する力を培う保育を展開する幼児教育を目指している。

2. 本年度に重点的に取り組む目標や計画

自己点検・自己評価を行い、下記の点について重点的に取り組む  
1、教師が客観的に保育を振り返り、保育計画を見つめなおす。  
2、子どもが主体的に過ごせる環境づくりや保育の質を高める。  
3、就学までに育てたい子どもの姿を明確にし、教職員間で共有する。  
4、教職員間の同僚性を育てる。  
5、異年齢保育の充実

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
ア. 客観的に自らを振り返られるよう、教師間での打ち合わせの機会を多く持つ	各学年、他学年と話し合う機会が増えたことで教師自身、年少組から年長組の育ちを考えられ、学年の目標の見直しが行えた。また、次の学年になるまでに育てたい子どもの姿の共通理解が行えたことで、より一層細かな打ち合わせを行い、今後も保育実践につとめる。
イ. 園の特色を活かした保育計画を編成し、実施にあたって教職員間の共通理解を図る。	建学の精神や教育目標に基づいた教育課程を編成している。専門の講師によるあそび、自然活動や食育、直接的な体験活動を通して、社会ルールが自然と身に付く保育が実践できた。
ウ. 子どもがすすんで遊びを考え工夫できる環境を整備する。	教職員が日々の観察を通して子どもの育ちやあそびを共通理解し様々な用具・おもちゃなど工夫しやすい環境を整えることができた。教師自ら年齢にあったおもちゃの与え方を学んだり、共に製作したり環境づくりを今後も進めていきたい。
エ. 日々の記録から子どもの育ちについて話し合い、情報を共有し家庭との連携を深める。	日々の記録を基に、普段見えにくい子どもの育ちをポートフォリオや懇談で家庭との連携が深まり、子どもの成長を肯定的に捉えることができた。一方、保護者に体験活動内容や意図を上手く理解されていない点もある。教職員間では子どもの現況を話し合うことで小学校教育との連携がスムーズに行えた。

オ、異年齢保育の充実	たてわり、チーム保育を行うが、今年度は朝や降園前と実施回数や時間が少ない。話し合いも不十分で縦のつながりが薄くなっていった。他学年との異年齢の保育内容や環境構成についても、話し合う機会を増やせるようにする。
カ、教師のスキルアップ	他学年の相互参観を行い、経験を積んだ教師から浅い教師へのアドバイスや実践研修に全員参加し、乳児からの育ちに気付き、共に話し合う同僚性を育む機会にもなった。今後も話し合いや実践を交えて、保育のスキルアップにつとめ、乳児から幼児への保育の連続性を念頭に置いて保育を行う。
キ、教員のサポート体制を高める	教員の庶務を減らすよう、ICT化を順次行っている。フリーの教職員の人数が増えたことで、子どもの個々のサポート体制や教員のサポート体制も高まった。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>保育計画を見直し乳児から就学前までの子どもの育ちについて子どもへの理解が深まった一方、保護者へ保育の意図や人材配置についての説明不足が見受けられる。又、今年は異年齢保育を十分楽しむための機会が減少したものの、子どもが主体的に過ごせる環境づくりが行えた。子どもや教職員にまつわるICT化もすすめ、事務の簡略化を行うがまだ十分ではない。</p>
---

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
見通しをもった保育内容を構築する	就園前の子どもの成長を十分理解したうえで、入園してから就学までを見通して、保育内容を構築し、実践にあたり効率的に動ける環境の整備を行う。
事務の効率化と情報発信	ICT化を図って事務や教員の行う事務作業の効率化を図る。 感染症対策に加え、園の情報を細かく発信して、信頼される園になる。
人材確保	優秀な人材を確保し、教員のサポート体制を整える。

#### 6. 学校関係者の評価

<p>課題としては、ほぼ達成できているとの評価だった。 園の特色を活かしての保育計画の構築や体験活動は子どもが喜んで活動する環境整備等行えている。 事務や園務の効率化を今後すすめ、教職員も子どもたちも生き生きと活動できる場となるよう願う。</p>
---

#### 7. 財務状況

公認会計士監査により適正に運営されていると認められている。
-------------------------------